

## みやぎ防災・減災円卓会議主催『防災運動会』に参加しました(2018/6/23)

テーマ：みやぎ防災・減災円卓会議、防災教育、サバ・メシ  
場所：宮城教育大学附属特別支援学校（宮城県仙台市）

2018年6月23日(土)に、宮城教育大学附属特別支援学校において、災害科学国際研究所の今村文彦所長が世話役を務める「みやぎ防災・減災円卓会議」主催の『防災運動会』が開催され、当研究所から今村文彦所長のほか、人間・社会対応研究部門の丸谷浩明教授、情報管理・社会連携部門の佐藤健教授、小野裕一教授、森山佳奈研究員、寄附研究部門の保田真理プロジェクト講師、広報室の鈴木通江技術補佐員が参加しました。

「みやぎ防災・減災円卓会議」は、研究機関・自治体・民間組織・報道機関・企業などそれぞれの取り組みを尊重しつつ、それらをゆるやかにつなぎ、情報・研究成果などを横断的に共有し、震災教訓の集約や啓発の継続に向けた基盤づくりを目的として2015年に設立されました。

『防災運動会』は、市民への防災教育・啓蒙活動の一環としての活用を期待する声に応じ、「みやぎ防災・減災円卓会議」発足以来、初めての取り組みとして開催されました。河北新報社および東北福祉大学による企画・運営、宮城教育大学附属特別支援学校からの会場提供、エフエム仙台、宮城学院女子大学、その他様々な関係者の皆さんによる協力で実現し、100名ほどが参加しました。

はじめに今村文彦 円卓会議世話人より「学びながら体を動かすことで防災・減災への理解を深めてほしい」とあいさつがあり、その後、避難時のエコノミークラス症候群を防ぐ「さんあい体操」と防災〇×クイズに続き、緊急避難時に必要な持ち物を揃えて視覚に障害のある方を誘導する「災害時借り物競走」、消火活動訓練を含む「車椅子避難リレー」などユニークな競技のほか、笑いを交えて防災・減災についての知識を楽しく教えてくれる「防災レンジャー」のヒーローショーや、阿部清人さんの防災エンスショーなど工夫を凝らしたプログラムが盛りだくさんでした。各競技の前には、競技説明と一緒に、災害時によくある困った状況や気を付けるべきこと、事前知っておくと良いことなどの説明もありました。

また、宮城学院女子大学とエフエム仙台の板橋恵子さんによる非常食や備蓄食料などを使ったサバイバル飯「サバ・メシ」、宮城教育大学附属特別支援学校校長による「1分で茹でるパスタ」の提供があり、災害時にも工夫次第で美味しく食事を摂れることを学ぶとともに、日頃の食料備蓄を見直すきっかけとなりました。美味しい食事を取ると皆さんが笑顔になることも印象的であり、避難所などで必要であると感じました。

『防災運動会』は子供から大人まで、市民の皆さんの災害に対する日々の備えと非常時の適切な行動を促す効果的なアプローチであると考えられます。今後は、当研究所ならびに「みやぎ防災・減災円卓会議」会員の知識・経験に基づくアイデアを活かし、より楽しく、より防災教育に資する取り組みへと発展させていくことが期待されます。

文責：森山佳奈（情報管理・社会連携部門）  
写真：鈴木通江（広報室）

（次頁へつづく）



さんあい体操



災害時借り物競争



車いすリレー



消化活動訓練



サバ・メシ (調理体験、試食の様子)



参加者全員で記念撮影